

※ 緑文字は職員へのアンケートを実施して成果を検証するものです。同様に、青文字は児童生徒へのアンケートで、赤文字は保護者へのアンケートで成果を検証します。

平成27年度 西都市立三納小中学校自己評価書と学校評議員による学校評価

【評価基準】 4～期待以上 3～ほぼ期待どおり 2～やや期待を下回る 1～不十分

領域	評価項目	区分	評価指標または数値目標	結果	学校の自己評価と改善策	自己評価		学校関係者評価委員のコメント	評価		
						指標別	総合				
III 体力の向上と健康な体づくり	① 体力向上の推進	共	a 体力テストを分析し、どの学年でも前年度のテスト結果を上回るようにする。 b 体育の授業において、どの学年でも三納っ子ウォーミングアップ運動を実施する。 c 小中学校運動会を充実させる。	a 前年度を上回っている学年もあるが、下回っている学年もある。 b 小中学校とも実施している。 c 細かい部分では反省点もあるが、全体的に充実していた。	a 全体的に「上体起こし」と「立ち幅跳び」が落ち込んでいたのを、それらを意識した運動を取り入れている。 b 今後とも継続していく。 c 細かな反省点を修正して、来年度に生かしていく。	3.12	3.18	○ 子どもたちの体力は、他の学校と比べてどうだろうか。 →【学校側の回答】 小学校も中学校も、県内ではだいたい平均である。上回っている種目もあれば、下回っている種目もある。小中学校ともに、体育の授業の始めに「みのっこウォーミングアップ」を行って、体力向上を図っている。	3.2		
			d 体育的行事を定期的実施する。(持久走大会、なわとび大会など) e 晴れの日を外で遊ぶ児童を90%以上にする。	d 持久走大会は小中学校とも予定通り実施することができた。 e 全職員が3以上であり、よくできている。	d 3学期にもなわとび大会があるので、児童に目標をもたせながら、計画的に実施していく。 e 引き続き、体育委員会や学級担任から呼びかけをしていく。	3.15					
			f 体育的行事を定期的実施する。(部活動、三校対抗駅伝持久走大会など)	f 各部とも一生懸命に活動している。外部指導者の方々も熱心に指導してくださっている。三校合同駅伝大会は、生徒達のすばらしい走りが見られ、有意義な行事となっている。	f 今年度以上の成績を残せるように、普段から体力・走力を付けさせていきたい。	3.36					
	② 健康安全指導の充実	共	a 健康診断後の指導を充実させ、家庭への啓発を図る。 b 毎月「三納っ子すこやか点検週間」を実施し、保護者の協力を得ながら、基本的な生活習慣の定着を図る。 c 性教育の授業を実施し、性教育の充実を図る。 d 学校保健委員会を開催し、家庭と協力して、メディアとの望ましい付き合い方を考えさせ、実践させる。 e 安全点検を実施し、危険箇所の改善を図る。	a 脊柱側湾検査や貧血検査では、事後指導までしっかりとすることができた。 b 毎月テーマを設定し、計画的に実施している。 c 今年度も「か母ちゃっ子くらぶ」や学級担任と連携した性教育を実施することができた。 d 学校保健委員会は2回実施したが、2回目は夜開催だったこともあり、参加者が少なかった。 e 毎月実施し、改善点については修繕できている。	a 今年度と同様スムーズに実施できるよう計画する。 b ノーメディアについてはマンネリ化してきているため、今後の取組について、検討を行った。 c 今後も実施していく。 d 来年度は5月の専門部会でテーマを決定し、参観日に合わせてテーマに沿った講演会等を実施できるよう計画する。 e 今後も事務部と連携しながら実施していく。	2.88	2.94	○ 理科室の机や椅子を改善してほしいと、市にも要望しているということだったが、その後どうなっているのだろうか。 →【学校側の回答】 現在のところ、まだ改善されていない。続けて要望しているので、来年度は改善してもらえるのではないかと期待している。	3		
			③ 食に関する指導の充実	共	a 給食の残食ゼロを目指す。 b 給食時の日常指導や「給食指導の日」の指導を徹底する。 c 栄養教諭、養護教諭、外部講師を活用して、食育の指導を充実させる。 d 「弁当の日」を実施する。(小学校は年3回、中学校は年2回) e 朝食を食べて登校する児童生徒を100%にする。	a 残食については、学年によって差がある。 b 「給食指導の日」をうまく活用し、給食指導を徹底できている。 c 今年度は、栄養教諭不在のため、実施できなかった。 d 計画的に実施できているが、保護者の負担を考え、来年度は日程の見直しを行う必要がある。 e 小中学校とも90%以上であるが、100%までには至っていない。	a 「給食指導の日」に合わせて呼びかけを行っていく。 b 今後も継続して実施していく。 c 来年度は、各学年実施できるよう計画する。(養護教諭とのTT等も考慮) d 小学校、中学校ともに年2回の実施とする。 小学校…ウォークラリー・送別遠足 中学校…文化祭・送別遠足 e 保健だより等を通して、児童生徒や家庭へ啓発を行う。	2.76	2.76	○ 「子どもの貧困化」が社会問題化してきており、地域で朝食を作っているケースもあるようだ。本校でも、朝食を食べない児童生徒が見られるが、朝食の大切さを保護者にも意識させてほしい。 →【学校側の回答】 朝食のよさは科学的にも検証されている。今後も朝食を食べるように指導していく。また、朝食を食べることで、親子のコミュニケーションもとれると思う。	3